

H27 教育改革 ～目標達成に向けた「知」「徳」「体」のさらなるステップアップ～ (1/2)

☆計画の最終年度となる『高知県教育振興基本計画 重点プラン』の目標達成に向けた取組を推進します。

- 知** 小学校の学力は全国上位に、中学校の学力は全国平均まで引き上げる
 - 徳** 児童生徒の自尊感情を育むとともに、社会性、規範意識を高める
 - 体** 小・中学校の体力、運動能力を全国平均まで引き上げる
- 重点プランの「目標」
(～H27)

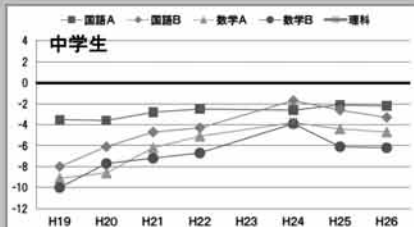
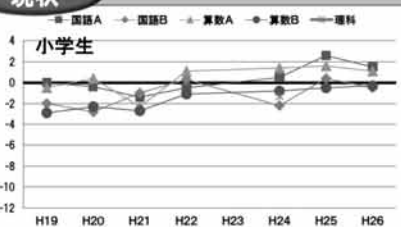
☆厳しい環境にある子どもたちへの支援の充実を図るとともに、高等学校再編振興計画の着実な推進や2020年オリンピック・パラリンピック東京大会を契機としたスポーツ振興など、将来を見据えた取組を進めます。

☆子どもたちの“命を守り、命をつなぐ”ための南海トラフ地震対策を推進します。

学力向上に向けた取組

現状

全国学力・学習状況調査結果（全国と本県の平均正答率の差）から



児童生徒の思考力や表現力の育成
学力向上のPDCAサイクルの構築

H27目標

小学校の学力は
全国上位に
中学校の学力は
全国平均まで引き上げる！

さらなる学力向上を
目指して！



小学生は、すべての教科で改善傾向にある
中学生は、改善傾向にあるが全国平均には達していない。特に、B問題に対応する力に課題がある

児童生徒の学力定着状況の把握

高知県学力定着状況調査実施事業 30,126千円

調査実施日
平成28年1月12日（火）

児童生徒の学力定着状況を把握し、学習指導の充実や指導方法の改善を行う
【小学校第4学年】国語・算数 【小学校第5学年】国語・算数・理科
【中学校第1・2学年】国語・社会・数学・理科・外国語

全国学力・学習状況調査

【小学校第6学年】国語・算数・理科
【中学校第3学年】国語・数学・理科

調査実施日
平成27年4月21日（火）



学校経営力の向上

学力向上のための学校経営力向上支援事業 20,040千円

- ・各小中学校で中期的な視野に立った『学校経営計画』の作成
- ・学校経営アドバイザー（7名）による学校への支援
- ・中学校学力向上推進校（18校指定）への支援訪問実施



放課後等における学習支援事業 57,629千円

授業の質・教科専門力の向上

ことばの力育成プロジェクト推進事業 66,918千円

全国学力・学習状況調査のB問題で求められる児童生徒の思考力や表現力の向上

算数・数学学力向上実践事業 3,339千円

- ・授業改善プランに基づく支援訪問の実施
- ・数学思考力問題集、数学B問題集の活用
- ・採用10年未満の中学校数学教員を対象に教育センターで半年間の研修を実施 など

理科教育推進プロジェクト 6,623千円

- ・理科の中核教員（コア・サイエンス・ティーチャー：CST）養成（年間10名程度）など

英語教育推進プロジェクト事業 33,166千円

- ・外国語教育の中核となる「コア・ティーチャー」の育成（年間20名程度）
- ・コア・スクールの充実（小4校、中4校）
- ・早期英語教育の地域拠点モデルの構築
- ・小学校外国語活動の教科化を見据えた集合研修やe-Learning研修の実施 など

高知県英語教育推進のためのガイドラインに基づく取組の充実



授業力向上



探究型学習の推進

中学校段階から生徒の主体性や課題解決能力を育成

郷土を愛し、高知から世界へチャレンジできるグローバル人材を育成

探究的な授業づくりのための教育課程研究実践事業 11,510千円

- ・各教科との連携を図った総合的な学習の時間の研究と実践（指定校：中学校5校）
- ・各教科における探究的な学習（授業づくり）の研究と実践
- ・ICTを活用した授業研究

グローバル教育推進事業 98,068千円

- ・グローバル人材の育成を図るため、高知南中・高校と高知西高校を連携推進校として、グローバル教育プログラム、英語教育プログラムの開発・実践、成果の普及を行う
- ・先導的な学校づくりを進めるため、国際バカロレア認定に向けた取組を進める

※探究型学習…各教科等において、生徒と教員のやりとりや、生徒同士で討議しながら進める授業形態の学習

H27 教育改革 ～目標達成に向けた「知」「徳」「体」のさらなるステップアップ～ (2/2)

体力・運動能力の向上に向けた取組

◆『スポーツ推進プロジェクト』の推進 ～2020年オリンピック・パラリンピック東京大会を契機としたスポーツ振興～

2020年オリンピック・パラリンピック東京大会の開催決定による国民のスポーツへの関心の高まりを好機と捉えて、県民がスポーツに親しみやすい環境を整えるとともに、子どもたちの体力・運動能力の向上につながるスポーツの裾野の拡充からトップ選手の更なる競技力向上までを一体的に捉えた施策を推進する。

スポーツ推進プロジェクト実施計画 (H27～H32)

対策の重点項目

- ①子どもの運動・スポーツ活動の充実
- ②競技力の向上
- ③地域における運動・スポーツ活動の活性化
- ④障害者スポーツの充実
- ⑤スポーツ施設・設備の整備

- NEW ○ 体育・健康アドバイザー支援事業 5,817千円
- 拡 ○ 運動部活動サポート事業 7,385千円
- 拡 ○ 競技スポーツ選手育成強化事業 91,925千円
- 拡 ○ スポーツトータルサポート事業 4,809千円
- NEW ○ 地域が連携したスポーツ活性化促進事業 5,701千円
- NEW ○ スポーツ施設等の整備
 - ・県立青少年センター体操床等の更新 34,565千円
 - ・高知東高校レスリング場の整備 25,387千円

学校等における南海トラフ地震対策

南海トラフ地震から“子どもたちの命を守り、命をつなく”ため、学校施設等の耐震化や保育所等の高台移転などの対策を促進するとともに、防災教育を徹底する。

- 県立学校施設の耐震化 3,008,948千円
平成27年度末耐震化完了予定
- 公立小中学校の耐震化 137,326千円
平成27年度末耐震化率 96.4%
- 保育所・幼稚園の耐震化 696,576千円
平成27年度末耐震化率 92.0%
- 保育所等の高台移転に伴う施設整備への補助 312,550千円
室戸市・中土佐町の保育所への補助
- 防災教育推進事業 15,710千円
 - ・防災学習教材「南海地震に備えちよき」改訂
 - ・県立学校等の教職員や生徒を対象とした避難所運営訓練(HUG)の実施 など



厳しい環境にある子どもたちへの支援の充実

「高知家の子ども見守りプラン」やいじめ防止対策を着実に推進するとともに、厳しい環境にあり様々な課題を抱える子どもたちに対して、発達段階に応じた様々な取組を充実・強化するとともに、地域ぐるみで子どもの育ちを見守る体制づくりを進めることで、高知県の将来を担うすべての子どもたちの夢や希望を育み、健やかな育ちを支援する。

◆就学前の子どもへの支援の充実

- 拡 ○ 親育ち・特別支援保育コーディネーターの配置拡充 19,740千円
- 拡 ○ 加配保育士の配置拡充 47,337千円
- NEW ○ 一時預かり利用料の減免 1,674千円

◆教育相談体制の充実

- 拡 ○ スクールカウンセラー・心の教育アドバイザー等の配置拡充 184,911千円
- 拡 ○ スクールソーシャルワーカーの配置拡充・重点配置 100,868千円

◆学習支援の充実

- NEW ○ 放課後等学習支援員(小中学校)の配置 57,629千円
- 拡 ○ 学習支援員(高等学校)の配置拡充 13,993千円
- 拡 ○ 放課後学びの場における学習支援の充実
(放課後子ども総合プラン、学校支援地域本部等事業の内訳) 55,284千円

高知県いじめ防止基本方針
(平成26年3月策定)

◆いじめ防止対策の総合的な推進

- 拡 ○ 高知夢いっぱいプロジェクト推進事業 8,108千円
子どもに内在する力や可能性を引き出す開発的生徒指導の推進
- 拡 ○ スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の配置拡充など教育相談体制の充実【再掲】

◆地域ぐるみで子どもたちを支援する体制づくり

- 拡 ○ 放課後子ども総合プラン 599,698千円
- 拡 ○ 学校支援地域本部等事業 41,679千円
- NEW ○ 学校地域連携推進教員(4名)の配置
コミュニティ・スクールや学校支援地域本部の立ち上げ等を支援

厳しい環境にある子どもたちへの支援の充実

事務局各課

就学前

◆親育ち支援啓発 [1,422千円]

- 保護者研修 H27予定：50回 1,000人程度
- 保育者啓発 H27予定：50回 500人程度

◆基本的な生活習慣向上事業 [3,803千円]

- 保護者用啓発パンフレットを作成し、全保育所・幼稚園等を通じて保護者に配布
- ・パンフレットの活用に関する説明会（保育者対象）
- ・基本的な生活習慣についての講演会（保護者・保育者等対象）

◆加配保育士等の配置拡充 [2,167千円]

- 市町村へのコーディネーターの配置 [19,740千円]
要対協との連携、支援計画の進捗管理 など
H26：5市町村5人→H27：13市町村17人
- 加配保育士の配置 [47,337千円] ※26年度2月補正
課題を有する子どもの洗い出し、関係機関とのつなぎ、保護者へのアプローチ など
H26：41人→H27：68人

◆一時預かり利用料の減免 [1,674千円]

学校地域連携推進教員(4名)の配置 [1,111千円]

- 学校と地域をつなぐコーディネート役としてコミュニティ・スクールや学校支援地域本部の立ち上げ、活動の充実を支援
- 各教育事務所（東部・中部・西部）及び高知市に配置

⇒様々な困難を抱える子どもたちが健やかに育つことができる環境づくりを学校・家庭・地域が連携して支援

小学校

◆学校での補充学習

放課後等学習支援員を新規配置 [16,160千円]
学校経営計画に基づく低学力対策の強化

- H27実施予定
- ・支援員新規配置予定：12市町 43校 80人
 - ・5～10h/週 延べ25,600時間

◆放課後子ども教室 ①

- H26：135か所
→H27：142か所
- H25実績（※高知市除く）
利用人数：1,726人/日、
平均開催日数：158日/年、
宿題：89%、宿題以外学習：46%

◆放課後児童クラブ ②

- H26：138か所
→H27：151か所
- H25実績（※高知市除く）
登録人数：2,663人、平均開催日数：259日/年、
宿題：100%、宿題以外学習：52%、おやつ：100%

H27：実施率94%
※全公立小における
学びの場設置率

NEW

高知市も支援
対象に拡充

○放課後学びの場
充実事業

- ・地域人材の協力による
教科の学習支援
(学習支援員の加配
：約100人分)
- ・教材等の購入に係る経
費への支援

知事部局所管

◆生活困窮者への学習支援(H27)

- ・2町村2か所（学校の空き教室）
- ・1～2h×1～2回/週
- ・指導者：地域住民
- ・参加予定児童数：約10名

中学校

◆学校での補充学習

放課後等学習支援員を新規配置 [41,469千円]
生徒の状況に応じた個別指導の充実（学校経営
計画に基づく低学力対策の強化）

- H27実施予定
- ・支援員新規配置予定：22市町村 64校 119人
 - ・2～4h×3～5回/週 延べ63,056時間
 - ・参加予定生徒数：3,443人

◆放課後学習室 ③

- H26：40か所
→H27：41か所
- H25実績（※高知市除く）
利用人数：492人/日、
平均開催日数：91日/年、
宿題：57%、宿題以外学習：83%、
補習：91%、入試対応：83%
(以上で学習実施100%)

- H27拡充の方向
- ・教材購入等経費をメニューに新設（27か所予定）

H27：実施率81%
※全公立中における
放課後の学習支援

NEW

①②③
放課後子ども総合プラン
推進事業 [599,698千円]

高等学校

◆学習支援員の配置拡充 [13,993千円]

放課後や長期休業期間中に、基礎学力の
定着状況に課題のある生徒への補力補習を
実施

- H26：延べ60人1,835時間
→H27：延べ90人4,980時間

◆課題のある生徒への個別支援の充実

- 支援の必要な生徒に対し、個別の支援計画を
作成し、組織的に支援（H26～）
- 補力補習、習熟度別学習の充実
- 相談体制の充実（H27実施内容）
・SC等：全公立校に配置、うち15校に週2日配置
・SSW：新たに県立5校に配置

◆教育費負担の軽減

- 高等学校等就学支援金 [934,497千円]
支給対象 H26：1学年⇒H27：1・2学年
- 高校生等奨学給付金 [158,078千円]
支給対象 H26：1学年⇒H27：1・2学年
- 高等学校等奨学金の貸与 [382,368千円]
- 授業料免除
海洋、東の専攻科の生徒の家計状況によっ
て授業料を減免（半額または全額）

小中学校での放課後の支援等
を受けない（受けられない）
子どもたちをカバー！！

◆スクールカウンセラー心の教育アドバイザー等(SC等)の配置拡充 [184,911千円]

H26：270校
(小113,中107,高37,特13)

H27：299校（小141,中107,高37,特14）
※問題行動の低年齢化に伴い小学校に配置拡充
※生徒指導上、大きな課題を抱える中学校に重点配置
・2中学校に週5日配置・小中連携配置2中学校区

◆スクールソーシャルワーカー(SSW)の配置拡充 [76,583千円]

H26：42人（25市町村,3県立中）

H27：50人（27市町村,3県立中,5県立高,1特支）
※長期欠席など支援が必要な生徒を多く抱える
県立高校、特別支援学校へ新たに配置

左記の通常配置に加え、新たに、

◆特に厳しい状況にある子どもたちへの支援を充実させるため、SSWを重点配置

高知市等の市部では、現在の国庫補助対象となるSSWの配置のみでは支援が十分に行き届いていない現状がある。特に厳しい状況にある子どもに対して、福祉部門と連携した支援を行うとともに、居場所づくりや学びを保障するため放課後学習室やチャレンジ塾等への誘導を促すなどの支援を充実・強化するため、県単独事業としてSSWの追加重点配置を行う。 [24,285千円]

- 高知市：新たに8人を追加配置（高知市計16人）
- 高知市以外：6市に7人を追加配置

拡

⇒さらなる支援を必要としている子どもへの支援の充実
⇒これまで支援が行き届かなかった子どもへの支援の拡充

スポーツ推進プロジェクトの推進

スポーツ健康教育課ほか

2020年オリンピック・パラリンピック競技大会が東京都で開催されることが決定したことにより、全国でスポーツに対する関心が高まり、さらに今後、国では選手育成をはじめスポーツを通じた様々な取組が強化される。この機会をとらえ、県民がスポーツ活動に親しみやすい環境を整えるとともに、オリンピック・パラリンピックや国民体育大会等で活躍する選手を本県から輩出することも見据えて、本県の子供達の「夢」や「志」を育みながら、体力・運動能力の向上につながるスポーツの裾野の拡充からトップ選手のさらなる競技力向上までを一體的にとらえた施策を推進する。

課題1 ・運動習慣の定着が不十分 ・子供の競技人口が減少傾向にある ・幼児期の遊びを通じた運動が不十分	課題2 ・効果的な発掘・育成・強化ができていない	課題3 ・全国トップレベルの実績がある指導者が少ない	課題4 ・スポーツ医・科学のサポート体制が不十分	課題5 ・成人の運動習慣が十分に定着していない	課題6 ・スポーツを通じた地域活性化に資する取組が少ない	課題7 ・障害者スポーツの基盤となる組織や施設が十分に整備されていない	課題8 ・スポーツ施設・設備が十分に整備されていない
---	------------------------------------	--------------------------------------	------------------------------------	-----------------------------------	--	---	--------------------------------------

スポーツ推進プロジェクト実施計画の策定

(高知県スポーツ推進審議会・スポーツ推進プロジェクト検討会)
 ※障害者スポーツの推進に関する事項を含めプロジェクトの重要な指針となる計画の策定

基本理念

将来にわたって誰もがスポーツに親しみ
 夢や志を育むことができる環境の整備

1. 子供達の体力・運動能力の基礎を培うために学校教育を通じた体力づくりが効果的に推進できる体制を整える。
2. 全ての地域において子供から高齢者まで、スポーツに親しみ体力の向上を目指すことができる環境を整える。
3. 質の高い一貫指導を将来にわたって継続して提供し、高知県から日本代表選手を目指すことができる環境を整える。

基本方針

- ① 運動・スポーツ活動の基盤を強化する
- ② 本県におけるスポーツ活動が継続的に充実、発展する仕組みや体制の構築
- ③ 多様な連携の推進

1 体育学習及び健康教育等の充実

- ◆ 運動好きの子どもを増やすために小中学校の体育授業等の充実を図る
- ★ こどもの体力向上支援委員会の設置

1. 体育・健康アドバイザー支援事業【5,817千円】 **新**
 ◆ 体育授業の改善及び健康教育充実のアドバイザーを派遣
2. こうちの子ども体力向上支援事業【3,687千円】 **新**
 ◆ 小学校の体育授業における副読本の活用及び体力向上に向けた課題対策
3. 運動部活動サポート事業【7,385千円】 **拡**
 ◆ 公立中学校及び県立高等学校の運動部活動に指導力のある外部人材を派遣



2 多様なアスリートライフスタイルの支援

- ◆ 競技団体の組織力向上や指導者のレベルアップに向けた支援の徹底
- ◆ 優秀な選手の発掘・育成の体制づくり
- ★ 競技力向上プロジェクトチームの設置

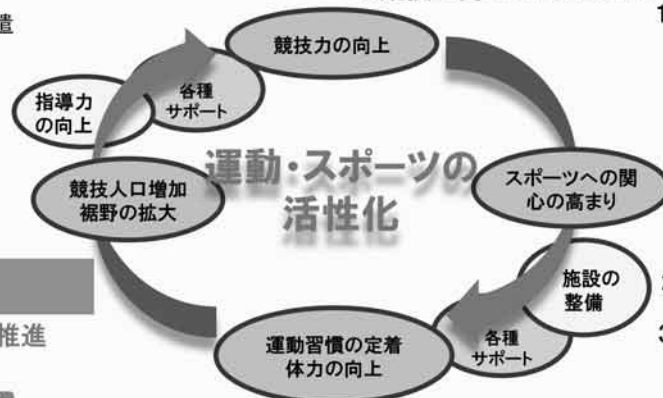
1. 競技力向上総合対策事業
 - (1) 競技力向上選手育成強化事業【91,925千円】 **拡**
 - ① 競技力向上プロジェクトチーム会議
 - ② 基礎強化
 - ③ 特別強化選手支援
 - ④ 障害者スポーツ選手強化
 - ⑤ アドバイザー招聘
 - ⑥ 一貫指導プログラムによる育成強化
 - ⑦ コーチアカデミー
 - (2) 中学生競技力向上対策事業【11,441千円】
 - ① 基礎強化
 - ② 中3対策
2. ジュニア選手育成事業【4,340千円】 **拡**
 ◆ 優秀な小学生の発掘・育成(小学4～6年生)
3. スポーツ・アスリートサポート事業【4,809千円】 **拡**
 ◆ スポーツ医・科学等を活用した各種サポート



3 エリアネットワークによる課題解決

- ◆ エリアにおける関係者間の連携・協働による取組の推進
- ★ ネットワーク会議の設置

1. スポーツを通じたエリアネットワーク事業【5,701千円】 **新**
 ◆ 市町村や総合型クラブ等が連携し、各地域でのスポーツ振興に関する課題解決に向けた会議等の開催を通して、エリア内ネットワーク化を図るとともに、エリアネットワーク計画を策定し、地域の実態に応じたスポーツの振興



4 スポーツを通じた地域活性化

- ◆ 国際交流やスポーツツーリズムの推進
1. 2015世界陸上北京大会事前合宿受入【5,790千円】 **新**
 2. オリンピック・パラリンピック東京大会事前合宿招致活動【2,840千円】 **新**

5 スポーツ施設の整備

- ◆ 競技拠点スポーツ施設等の整備
 - ◆ 各競技の拠点となるスポーツ施設や学校のトレーニング設備など県内のスポーツ施設・設備を整備
1. 県立青少年センター体操床等の更新【34,565千円】 **新**
 2. 高知東高校レスリング場の整備(設計)【25,387千円】 **新**

対策

181